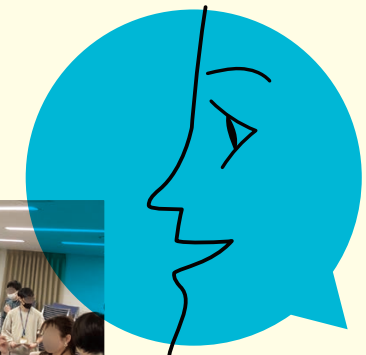


地域交流会 のすすめ

～ 地域の顔の見える関係づくり～

Ota City Citizen Collaboration



発行：大田区 地域力推進課 区民協働・生涯学習担当
〒144-8621 大田区蒲田五丁目13番14号 大田区役所本庁舎6階
発行日：令和7年3月28日

INDEX

- 01 はじめに P 1
- 02 交流会の開催方法 P 2-7
- 03 コラム - 繋がりから生まれた地域のイベント - ... P 8
- 04 <付録> 企画シート P 9-10

はじめに ～地域内の繋がりを作ろう～

わが国では人口減少と少子高齢化、コミュニティーの希薄化が進む中、地域課題や市民ニーズが複雑化・多様化しています。また、地域には、自治会・町会といった地縁団体のほか、NPOやボランティア、サークル活動を行うテーマ型の活動団体など様々な団体がありますが、沿革、規模、構成等により、強みや成熟度は異なります。

こうした状況の中、個々の団体の活動がお互いを補完し、相乗効果を生み出しながら地域課題に対応するため、複数の団体が連携した「協働」によるまちづくりが求められます。

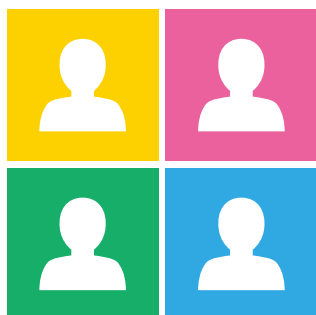
このような、団体の垣根を超えた連携を図る上で、各団体の構成メンバー同士による重層的な繋がり(以下のイメージ図参照)から、「顔の見える関係」を構築することが重要です。

各団体を構成する個人間で顔の見える関係が築かれることで、団体間で地域内の課題が可視化・共有化され、「協働」によるスピーディーな課題解決が期待できます。

本冊子は、地域内で顔の見える関係を構築するための様々な手法がある中で、地域活動に関わる個人同士の「交流会」に焦点を当て、具体的かつ効果的な実施方法を紹介します。

「顔の見える関係」づくりの一步としてご活用ください。

個人間の交流



異なるバックボーンを持つ個人が
交流会に参加

顔の見える関係



交流により個人間の
「顔の見える関係」
情報交換や交流が促進

協働



個人の繋がりから所属組織など
団体間へと広がり、
「協働」によるまちづくりが実現

交流会の開催方法

交流会の開催のポイントをまとめました。

交流会企画の流れ - その1 -

1. 参加者

交流会の開催目的から、どんな人に参加してほしいかを考えます。
特定の世代(子育て世代・高齢者・学生など)、地域活動に参加している方(自治会・町会や地域団体)など、新たな繋がりを持ちたい方のイメージを具体的に想定します。

2. テーマ設定

交流会の目的やターゲットとする参加者の属性に合わせて、テーマを考えます。
関係性の構築や、積極的な交流が期待できるようなテーマ設定が良いでしょう。

参加者	テーマ例
●自治会・町会の委員 ●地域活動団体などのメンバー	<具体的で協働・地域活動に繋がるような内容> ●地域の理想像や課題に感じていること ●地域内でやりたいことや自分たちの活動内容紹介
●地域活動などへの参加経験が 少ない方を集める場合	<特定のテーマをもとに参加を募る場合> ●料理やスポーツ、地域の歴史など、趣味性の高い内容 ●子育てのお悩み共有など、同世代の関心がある内容
●誰でも気軽に参加を募る場合	<共通で話題になりやすいテーマ> ●地域の施設やお店、イベントなど ●地域内の好きなところや理想像など

column

趣味の話や悩み相談で気軽に交流会を

交流会のテーマというと、真面目なお題について話し合うイメージがありますが、料理やスポーツ、地域の歴史など、趣味や好きなことをベースに雑談するような会でも成り立ちます。特定のコミュニティに関わらず、自由にテーマを設定することで、様々な背景を持つ参加者が交わり、地域内の顔の見える関係の構築に繋がるのです。

3. プログラムの作成

アイスブレイク(P4参照)やワークショップ(P6参照)などのプログラムを設定することにより、参加者の会話の機会を作ります。またセミナーなどの学べるインプットの場の提供をすることで、興味がある人を集めたり、学んだ内容がワークショップ時の会話のきっかけになります。

交流会の開催方法

交流会の開催のポイントをまとめました。

交流会企画の流れ - その2 -

3. プログラムの作成

① アイスブレイク・自己紹介(自己開示)

交流会では参加者同士が打ち解け合い、会話を楽しめるような雰囲気を作ることが大切です。自己紹介やアイスブレイクの時間を設けることで、参加者同士がお互いを知り、関係の構築に繋がります。

アイスブレイク・自己紹介例

～趣味×自己紹介ゲーム～

参加者に自分を表すもの(趣味や興味に関連するもの)を持ってきてもらい、紹介することでその人+αの情報を知ってもらう自己紹介です。

- 方 ①参加者に事前準備として、自分を表すものを準備し持参してもらう。
法 ②当日、名札プレートなどと一緒に机の上に展示する。
③展示物ごとに、持ち主が自己紹介とそれを持ってきた理由を紹介する。
自己紹介の前に、展示されている物に対して、誰のものか当て合っても盛り上がりやすし、「物」を介して人となりや興味を知るきっかけになります。



1. ウソ・ホントゲーム

参加者がウソの情報を1つだけ交えた自己紹介をし、聞いていた人にどの部分がウソかを当ててもらうゲームです。意外な内容がホント(ウソ)だと盛り上がる他、自己紹介の内容を書いて発表するので、参加者の記憶にも残りやすい特徴があります。

- 方 ①参加者に紙とペンを配り、自分についての情報3～4個とウソを1個書いてもらう。
法 ②紙を見せながら自己紹介を実施する。
③聞いていた人に、どれがウソかを当ててもらう。(1人を当てて答えてもらう、多数決を取る等)

2. 空想自己紹介ゲーム

「宝くじが当たったら何がしたい?」のようなシチュエーションのお題に答えるゲームです。その人の趣味や好きなことなどが分かり盛り上がりやすくなります。

- 方 ①司会が「もしも〇〇だったら」というテーマを何個か発表する。
法 ②参加者は好きなテーマを選び、その解答と理由を答える。
(例:無人島に1つだけ持っていく物、もしも誰かになれるなら、魔法が1つだけ使えるならなど)
司会や他の参加者から回答に対してさらに質問を行ってもよいでしょう。

交流会の開催方法

交流会の開催のポイントをまとめました。

交流会企画の流れ - その3 -

② インプットプログラム

ゲストを呼んだプログラムは、そのテーマに応じた参加者が見込めます。また、交流会内での共通の話題としてや、ゲスト・類似団体などを巻き込んだ具体的なまちづくり・協働の話題に繋がる機会も多くなります。

インプットのプログラムを設ける場合は、想定参加者やテーマ、見込まれる効果などとの親和性を考慮して設定しましょう。

ゲスト	見込まれる効果
● 趣味性の高い団体 ● 活動機会や活動場所を探している団体 (例:ダンス教室で練習を行っているフラダンスサークル)	● テーマをもとにしたコミュニティ・人の輪の形成 ● 地域の「場所」や「イベント」などでの活動発表の打診など協働の活動場所の提供など
● 地域で活躍する地縁団体 (例:自治会・町会)	● 地縁団体で実施する活動への理解の浸透 ● 自治会・町会の活動への、各団体のコンテンツ・ノウハウをいかした協働・協力

インプットのプログラム例

1. セミナー形式

セミナー形式はゲスト1名がテーマに沿って話す形式で、参加者が興味のある話を集中して聴講できる点が特徴です。

ゲストの持つノウハウを学ぶだけでなく、失敗事例を挟みながら、参加者側と同じ悩みを共有することで、ゲストとの対話を楽しむことができます。



2. トークディスカッション形式

トークディスカッション形式は異なる立場(所属団体など)や意見のゲスト複数名が、同じテーマに沿って相互に意見を述べながら議論を深める形式で、テーマに沿って様々な意見を比較しながら聞けるのが特徴です。

多ジャンルのゲストを呼ぶことで、参加者の多様化が期待できるなど、地域内に様々な活動をしている方がいることを認識し、積極的な交流や協働に繋がります。



交流会の開催方法

交流会の開催のポイントをまとめました。

交流会企画の流れ - その4 -

③ アウトプットの機会

参加者やテーマに合わせたアウトプット機会を作ること、参加者同士の交流が進みます。
また、地域の共通のテーマや理想像、課題などを話し合うことで、相互理解や協働に繋がるきっかけとなることがあります。

アウトプットのプログラム例

1. ワールド・カフェ(WC)形式

ワールドカフェ形式はカフェのようなリラックスできる環境で、メンバーの組み合わせを変えながら、テーマに集中して4～6人という少人数で会話を重ねていく手法です。少人数で1つのテーマに対して議論を行った後、メンバーを入れ替えて議論を行います。少人数での話しやすい一方、多くの参加者と交流が出来る点が特徴です。



ワールドカフェ形式

少人数のグループを作成し、意見交換を行っている様子。
参加者は机を移動し、別のグループで再度意見交換を繰り返します。

2. オープン・スペース・テクノロジー(OST)形式

OST形式とは1つのテーマや発案に対して、参加者が自由に意見やアイデアを述べていく方式です。1人が発言や意見を出し、それに対してほかの参加者が発言を重ねていくことで、様々な角度や深みのある議論が展開されやすく、実現可能性の高いアイデアへと昇華されます。そのアイデアをきっかけに、協力体制・協働の輪へと広がりが期待されます。

本形式では、多人数で意見を出すため、話やすい雰囲気作りや、一人が話す時間を管理するファシリテーターを立てるなど、事前準備が重要となります。



OST形式

ファシリテーターを中心に、10人以上の参加者が話し合っている様子。

交流会の開催方法

交流会の開催のポイントをまとめました。

交流会企画の流れ - その5 -

4. 場・雰囲気・環境のデザイン

参加者やテーマなどに合わせて、①場所や②雰囲気、③参加しやすい環境などを考えます。交流会のプログラムに合わせた場所選びや雰囲気作りを行うことで、参加へのハードルを下げたり、交流会内で発言しやすくなったりします。

① 交流会の場所を考えよう

場所の例	メリットやねらい
● 公共施設や民間の会議室 (会館・生涯学習施設など)	● 設備が豊富であることが多く、色々なテーマに対応できる ● 参加者は少し硬いイメージで挑むことが多い
● テーマ型の民間・公共施設 (図書館・公園・プール・川辺・学校など)	● 会場をテーマにした場合に参加者が話をしやすい ● 具体的な「場」の活用などの話をしやすい
● 地域内の飲食店や商業施設 (カフェや居酒屋、美容院・理髪店など)	● 普段参加しない層の参加が見込める ● 気軽な参加や意見を出すことに対するハードルを下げられる

② 交流会の雰囲気を考えよう

雰囲気づくりの例	メリットやねらい
● 街の写真や地図の設置	● 地域・街の構成などの把握 ● 地域活動の議論における地域資源などの共通認識化 ● イベントなどの企画においては実施場所の検討や類似場所や代替場所の案が出しやすくなる効果など
● 地元の銘菓・店舗のお茶菓子の設置	● お茶菓子を置くことで、リラックスして参加しやすくなる ● 地元銘菓などを用意することで会話のきっかけになる

参加者が集まりやすい環境作りも、交流会には大切なポイントです。

例えば、子育て世代の来訪を促すために、自転車やベビーカー置き場、授乳室の準備や、子どもが遊べるマツスペースを用意します。参加者を意識した環境づくりしましょう。

5. 参加者を集めよう

広報チャネル	効果
● 公共施設の掲示板、自治体などの広報誌	● 全世代に共通で広く地域に告知ができる ● メ切や掲載内容などに制限がある可能性がある
● 自治会・町会の掲示板、公式LINEなど	● 全世代に共通で広く地域に告知ができる
● PTA、趣味などの関連団体や場所	● 興味関心のある層、対象の層に届けやすい
● SNS	● コミュニティ内での訴求効果が高い

ターゲットに届くチャネルを意識することが大切です。関連する団体などの協力を得られると、コミュニティ内で告知してもらえる場合があります。また、掲示板や公式LINE、公共施設などが利用できると効果的です。

交流会の開催方法

ここでは、実際に実施したまちづくり交流会から会話を促進する工夫を紹介します。

参加者の交流を促す工夫

自己紹介×展示

参加者には、趣味や自分に関連する「もの」を持参してもらい、それを「展示」に見立てて設置、自己紹介の際にはファシリテーターを交えながら、自身の「展示」の説明をしてもらいました。自己と「もの」を紹介することで、深く参加者同士が知り合うことができ、会話のきっかけづくりに繋がりました。

また、参加者の趣味を地域活動のイベントに活用する案が出るなど、具体的なアイデアにも繋がり、交流会が大いに盛り上がりました。



参加者持参の自己紹介展示

自身の展示物の解説を行う参加者

参加者の意見を活発化する工夫

共通認識を持たせる「街」の展示

模型によって街の要素を想起させ、参加者間の共通認識を作ることで、地域活動における取組や代替案などが生まれやすくなる環境に繋がりました。テーマに沿って共通認識を持てるものを準備することにより、アイデアが出しやすくなります。



テーマごとの例	歴史……………	新旧地図、古文書・資料
	料理……………	調理器具、料理本、料理
	環境や防災……	地図
		など

「〇〇〇」という設定

例えば、「わがまま」な意見を投票ボックスに投函し、自由な発想やアイデアを出してもらったところ、実現可能性にこだわらず、地域活動でやりたいと思う「わがまま」な意見を自由な発想で積極的に出すことができました。このように「楽しく」「気楽」にアイデアを出せる工夫は、交流会において有効になります。



繋がりから生まれた地域のイベント

ここでは、地域内の顔の見える関係を活かし、自治会・町会や民生委員などの地縁団体とNPO・サークルなどのテーマ型活動団体が協働して開催したイベントの実例をご紹介します。

2024年 久が原会館 秋祭り

概要

地域の会館を利用し、有志の住民による子供向けイベントを開催。地縁団体の他、サークル団体、NPO法人、子ども向けの活動団体などの、多くの団体から集まりました。

マジックショーやルービックキューブなどの出し物、フラダンスの発表やアクセサリー作りなどの各種ワークショップ、輪投げやボウリングコーナー設置やお弁当の販売といった、様々なコンテンツが出揃い、地域の子どもたちを楽しませるイベントとなりました。



会場 久が原会館
(大田区久が原2-27-1 久が原会館)

入場無料 どなたでもお立ち寄りいただけます。

11.10(日) 10:30~15:00

2階 大集会室

11:00~11:30 マジックショー [謎の女性 マジックまこ!]

11:40~12:10 災害時のトイレのお話し (グッズ販売あり)

12:20~12:40 子どもフラダンス

12:50~13:50 モルック大会

13:50~14:50 ルービックキューブ体験&大会
(いろいろなトリック体験/記憶力大会/パズル販売)

併設

12:10~14:50 飲食コーナー (軽食、飲み物 販売)

12:50~14:50 キッズ向けミニゲームコーナー (わなげ等)

3階 小会議室

ワークショップのお部屋

11:00~12:30 ・毛糸でほんほんキーホルダーを作ろう
・予約制、当日受付も可 ・デコレーションバッグ

13:00~15:00 ・リボンレイのキーホルダー作り/販売
・スタンシールと光の透かし絵

会場へのアクセス

秋の一日 久が原会館で 楽しい文化活動を

主催：大田区まちづくり交流会有志

協力：久が原西自治会、久が原地区民生委員児童委員協議会、マジックまこ、NPO法人CONNECT、せとこつラスター、イオファススタジオ、キューブ発達の会、わいわいCUBE、MIMIHI、こどもの森のけだまり/みんなのマルシェ、おどろのオカリナ、kitpassK-ART、他

問い合わせ： ☎090-2153-6017

Rev.1.03 イベントの内容は予告無しに変更する場合がありますことをご了承ください。

きっかけ

きっかけは「まちづくり交流会」でした。過去に実施した交流会において、「久が原会館を活用して、子どもたちが参加しているような祭りを開催したい」と発案したところ、地縁団体や各団体に所属している参加者らと意気投合。そのメンバーが中心となり、実行委員会を立ち上げました。

企画を進めるにあたり、各メンバーが自分の所属する組織や団体、サークルの仲間などに声をかけることで有志の輪が広がったほか、主地域のイベントや各団体の主催イベントのノウハウなどを共有することで、大規模なイベントに繋がりました。

有志メンバーの声

元々知り合いがいた団体に加え、交流会で様々な団体の人に知り合えたことで、多くの人を巻き込み、コンテンツを備えた具体的なイベントをスムーズに企画できた。
(主催:地縁団体所属)

地域で多くの人脈を持つ方と繋がれたことで、久が原会館の活用や、情報発進の実現、運営のための有志を沢山募ることが出来た。今回は自分の団体の活動を絡められなかったが広報などで協力が期待できる。
(主催:テーマ型活動団体所属)

<付録>企画シート

1. どんな人が交流会に参加してほしいですか？（いずれも複数回答可）

①交流会やまちづくりへの参加経験・興味関心

- ☐誰でも ☐地域活動の経験が少ない ☐地域活動の経験がある
☐その他（ ）

②参加者の年代

- ☐10～20歳（☐小学生 ☐中学生 ☐高校生 ☐大学生 ☐社会人） ☐20～30歳
☐30～40歳 ☐40～50歳 ☐50～60歳 ☐60～70歳 ☐70歳～
☐その他（ ）

③参加者の属性（以下は具体的な一例です）

- ☐単身 ☐既婚 ☐子育て世帯 ☐趣味・サークル団体 ☐NPO・ボランティア団体
☐自治会・町会員 ☐会社員 ☐地域内への通勤者 ☐地域内への通学者
☐その他（ ）

2. 上記①②で記載した参加してほしい人をより具体的に書いてみましょう。

集めたい人を具体的に想像して書きましょう！（考え方のヒント:所属団体/世代/地域など）

3. どのような交流会を目指しますか？

- ☐参加者同士で知り合い関係になる ☐地域活動のことを話し合える関係になる
☐地域活動における理想や課題を協働による解決案を出す
☐その他（ ）

4. 上記を踏まえ、交流会のテーマ案を書いてみましょう。

初心者が参加しやすいテーマや内容だと、参加できる人の母数が増えるためおすすめです。

<付録>企画シート

5. どんなプログラムを実施しますか？（複数選択可）

- ☐自己紹介・アイスブレイク ☐インプット(セミナーやパネルトークなど) ☐アウトプット(ワークショップなど)
☐その他（ ）

6. 上記の具体的な内容を考えましょう。

①自己紹介・アイスブレイク(参加者の交流会への慣れ具合などを参考に考えましょう)

②インプットを行う場合、ゲスト候補やテーマ、手法(セミナーやパネルセッション)を考えましょう。

③アウトプットを行う場合、想定される参加者数、時間、会場の設備や準備などを参考に考えましょう。

7. 開催する場所の候補を考えましょう。

（空き日程や人数、アクセス、設備・備品、雰囲気などを参考にしましょう）

協力をお願い出来るところも含めて記載しましょう。

8. 雰囲気作りや参加しやすい環境づくりで工夫することがあれば、記載してください。

9. 広報の手段を考えましょう。

協力をお願い出来るところも含めて記載しましょう。

簡単な交流会の企画案が出来ました。
より具体的な日程の調整や時間、スケジュールなどに落とし込んでいきましょう!!